

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（1例目）に係る遺伝子解析及びNA亜型の検査結果について

笠間市の採卵鶏農場（約7万2千羽）において確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（1例目）について、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

記

1 概要

笠間市の採卵鶏農場において確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認され、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確定しました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

2 その他

- ・我が国では、これまで、家きん肉、家きん卵を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は報告されていません。
- ・現場での取材については、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、生産者の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- ・今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。